

北村 聡



■そもそも、どういった理由で税理士を目指すようになったのですか。

北村 子どもの頃は父の勉強嫌いで、毎日のようにサッカーや草野球に明け暮れていました。それでも、どういわけか算数にだけは不思議と興味がありました。あまり意識はしていませんでしたが、税理士になっ

た理由のひとつにはそれがあつたように思っています。

また、税理士になろうと思った原因のひとつには、私の幼少期の経験も関係しています。実は私が4歳のとき、私の家族は一家離散の憂き目にあつたのです。父はトラックの運転手をしていたのですが、組合ともめたのが原因で、一時期、仕事がで

きなくなつてしまつたのです。おかげで、私と兄はそれから一年半ほど長崎県大村市の親戚の家に預けられてしまいました。そのせいか、私は漠然と数字に対するリスク意識をひと倍強く持つようになったのです。このあたりも、税理士という仕事に惹かれた要素になっていいると思ひます。

に夢中だつたように思ひます。ですが、25歳になつたときに、さすがに何か手に職をつけたいと思うようになりました。そこで、先ほど話したような理由で、税理士という職業に目を付けたのです。そして、すぐに私は日商簿記1級から勉強することになりました。年齢も年齢だったので、3級、2級は飛ばして、1級から攻めることにしたんです。

■長崎で過ごした後は、どのような少年時代を送つたのですか。

北村 東京足立区で生活しました。その頃、父はふたたびトラックの運転手をやつていました。その後、しだいに家計も安定してきて、私は中学を出た後で高専に入れてもらいました。しかし、どうもそこでの勉強が専門的すぎて、気付けば学校にほとんど通わなくなつてしまつたのです。そして、拳句のはてには高専を中退してしまつたのです。今思えば高専を出て、終身雇用制度にノックつて会社勤めするというのが、イヤで仕方なかつたのかもしれない。

通信教育で勉強することにしたのですが、最初は本当にもうチンプンカンプンでした。売掛金や仕掛金といった用語の読み方すらわからない状態でした。それに通信教育というのは、少しでもサボると教材がダウンロードたまってしまいます。それには閉口しました。とにかく、たまたまヤル気がなくなつてしまつたのです。これとの闘いにはひと苦労しました。

■どのくらいの期間で合格することができましたか。

北村 日商簿記は1年間で合格し、税理士試験にはバイトをしながら6年かけて合格することができました。

■実際に税理士になつてみて、どのような気持ちになりましたか。

北村 税務や会計といったことに携わつてみると、子どもときの記憶がよみがえつてきました。今は「顧問先をあんな目にあわせられないように

しなければいけない」という思いでバイトです。

私は2年ほど税理士事務所に勤務した後で独立しましたが、大きな事務所ではどうしても顧問先の悩みに対して、マニュアル的に応えなければなりません。しかし、それでは経営者に親身になつて接することができません。やはり毎月訪問して、いろんな話をしなければ、その会社を持つている問題点やリスクを洗い出すことはできないと思うのです。ですから、私は事務所の規模をドンドン大きくしていくというよりは、地道に丁寧に顧問先と接していきたいと思ひています。

■現在は、どのような顧問先を持つていますか。

北村 まだ開業したばかりですので、数件といったところです。ですが、私が「中卒税理士」ということもあって、さまざまな問い合わせをいただくことがあります。たとえば「中卒で税理士になれたサクセスストー

リーを聞かせてほしい」といった依頼を受けることもあります。また、ときには自己破産し、苦境に立たされた方から救いを求められることもあります。私の体験を語ることで、そういった方たちを励ませるのであれば、積極的に語っていきたいと思ひています。

■今後、どのような活動を行つていきたいですか。

北村 時折、中学校で租税教室を開いているのですが、こういった活動にもっと力を入れていきたいですね。日本では税や会計に関する教育がそろかになっていいますが、税や会計といった分野は大人になつたら誰もが関係することです。だからこそ、子どものうちからシッカリと学んでおくべきだと思ひます。

■これからも自身の体験をもとにしたアドバイスで、苦境に悩む顧問先を元気づけてください。本日はどうもありがとうございました。

一家離散や高専中退を経て 埼玉県草加市に 「中卒税理士」が誕生!!

北村聡氏は高専中退後、いくつかのアルバイトを経験した後で税理士になった「中卒税理士」。その人生はまさに波乱万丈、そして現在ではその経験を生かして顧問先を支援しているという。さっそく、北村氏のこれまでの人生と税理士としての働きぶりにスポットを当ててみた。



北村聡 (きたむら・さとし) 北村聡税理士事務所 所長
1972年生まれ。高専を中退後、20代のときにトラックの運転手、ホテルのウェーターを経験。30代になってからカセット通信教育で税理士試験に合格。東京の税理士事務所での勤務を経て、北村聡税理士事務所を開業